

令和7年度 岩見沢市立第二小学校

学校（自己）評価報告書



学校名	岩見沢市立第二小学校							
校長名	和田知子				教職員数		21名	
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
学級数	1	1	1	1	1	1	3	9
児童生徒数	20	24	20	13	19	25	13	134
住所	岩見沢市上幌向南3条7丁目624番地							
電話	0126-26-1504							
FAX	0126-26-2198							
URL	https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/soshiki/daishogakko/4574.html							
e-mail	dainis@edu.hamanasu.com							

I 学校教育目標

「心身健やかに、よく考え、協調し合う子の育成」

【目指す姿】・学び合う子 ・認め合う子 ・磨き合う子

II 中期及び単年度の具体的目標

- 1 新しい時代に対応できる力の育成
 - (1) 1人1人の子どもを主語にした授業づくり
 - (2) 授業時数特例校制度を活用した特色ある教育課程の実施
 - (3) 1人1人を大切にした教育の推進
- 2 豊かな人間性の育成
 - (1) 支持的・親和的風土を基本とする学級経営の推進
 - (2) 道徳教育の充実
 - (3) 岩見沢型ピア・サポートの実践の充実
- 3 健やかな体の育成
 - (1) 基礎体力や運動能力を育む体力向上の推進
 - (2) 基本的生活習慣の定着
- 4 安心・安全な学校づくり
 - (1) 互いを認め、高め合う人間関係づくり
 - (2) 安全教育の推進
 - (3) 安心・安全な教育環境の整備
- 5 コミュニティエリアを基盤とした地域連携・小中連携
 - (1) 上幌向CAの「目指す子ども像」を実現する取組の推進
 - (2) 上幌向地区の授業づくり
- 6 働きがいのある職場づくり
 - (1) 学校運営への参画意識の向上
 - (2) 経験年数やライフステージに応じた研修機会の充実

(3) 働き方改革の推進

目指す子ども像

	学び合う子	認め合う子	磨き合う子
めざす子ども像 【教育目標】	自分で考え、進んで学び 思いや考えを生き生きと 表現できる子	助け合い、認め合い、思いや り、ともに成長する子	目標を持ち、自分の力で 最後までやりぬく子
知識 技能	自ら進んで基礎的な知識や技能 を身に付ける	集団生活を送る上で規範意識の大 切さを理解する	自分の努力目標を明確にする
思考力 判断力 表現力	根拠を持って主体的に説明でき る	多様な考え方を認め合 い、自分たちで解決できる	目標を達成するための具体策 を考え・行動ができる
学びに向かう力 人間性	学びを振り返り、学んだことを 次の課題や生活場面に生かす	思いやりをもって他者と関わり合 い、相手を尊重した行動をする	よりよく目標達成するために 何をすべきか工夫する

III 各種具体的な計画

(1) 1人1人の子どもを主語にした授業づくり

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、教師主導から学習者主体による授業の転換
- ・子どもとの対話により、「教える」べきことを教え、「考えさせる」べきことを考えさせる授業の展開
- ・「学習スキル」の向上と「学習規律」の徹底
- ・子どもの評価・定着の確認の徹底
- ・ICTを効果的に活用した授業づくり

(2) 授業時数特例校制度を活用した特色ある教育課程の実施

- ・総合的な学習の時間における探究的な活動の充実
- ・探究的な視点でより深く学ぶ活動の推進
- ・「自ら問題を発見、情報収集、活用しながら解決を目指す」学習の推進

(3) 1人1人を大切にした教育の推進

- ・「わかる」「できる」を保障する個に応じたきめ細やかな指導の充実
- ・1人1人のよさや可能性の伸長と教育的ニーズにこたえた特別支援教育
- ・子どもの多様化や適応状況を踏まえた適切な指導

(4) 支持的・親和的風土を基本とする学級経営の推進

- ・よりよい人間関係を築くための挨拶・言葉遣い・礼儀の日常化
- ・対話を重視し、他者を思いやり主体性のある児童の育成
- ・教師と児童、児童と児童の信頼関係の構築

(5) 道徳教育の充実

- ・指導の重点を明確にした「考えて議論する」道徳の推進
- ・思いやりあふれる人間関係の土台づくりに向けて、道徳科の授業を「要」とした道徳教育、人権教育の推進

(6) 岩見沢型ピア・サポートの実践の充実

- ・計画的なピア・サポートの実践（朝ピア・全校ピア）
- ・社会性と情動の学習（SEL）の実践
- ・ポジティブな行動支援（PBIS）の日常実践

(7) 基礎体力や運動能力を育む体力向上の推進

- ・体力・運動能力の向上へつなげる体育授業の工夫
- ・体力の向上と共に目標に向かって粘り強く最後まで立ち向かう体験の充実
- ・日常的に運動に取り組める環境整備の推進
- ・外遊びの励行、休み時間の遊びや集団遊びの工夫など継続的な手立て

(8) 基本的な生活習慣の定着

- ・家庭と連携した基本的な生活習慣「早寝・早起き・朝ご飯」の定着
- ・望ましい食習慣や健康への意識を高める健康教育の推進
- ・意欲、集中、安心につながる清潔で落ち着いた学習環境づくり
- ・食に関する指導の充実

(9) 互いを認め、高め合う人間関係づくり

- ・いじめの未然防止・早期発見・早期解決
- ・「いじめはどんな理由があっても許さない」日常的な指導
- ・生徒指導研修の充実、予防的生徒指導の実践
- ・情報モラル教育と家庭と連携した指導の徹底
- ・全職員による日常的な児童観察と情報共有によるいじめ・不登校等への組織的対応
- ・SC やSSW、関係機関と連携し児童、保護者の抱える課題に対する教育相談の充実

(10) 安全教育の推進

- ・避難訓練、防犯教室、交通安全指導等による、危機回避における判断力・実践力の育成
- ・「安全マップ」の活用による、登下校時や下校後の安全指導・安全確保
- ・感染防止対策の徹底

(11) 安心・安全な教育環境の整備

- ・危機管理体制の整備
- ・危機管理マニュアルの充実と周知徹底
- ・健康状況調査の情報共有と個に応じた配慮事項の共通理解
- ・食物アレルギー児童への確実な対応

(12) 上幌向CAの「目指す子ども像」を実現する取組の推進

- ・小中学校の円滑な接続に向けて「めざす子ども像」を共有
- ・学校だより・授業参観・学校行事等の機会を通して学校経営ビジョンの浸透

- ・学校運営協議会（コミュニティ・エリア）の意見を参考に経営改善を図る
 - ・関係機関・団体と連携し、地域の人的・物的資源を積極的に活用
- (13) 上幌向地区の授業づくり
- ・探求型授業をベースとした上幌向中学校区の授業づくり研究
 - ・中学校との交流（クリーン作戦・出前授業・歌声集会）
 - ・日常的な情報交流
 - ・授業参観（参観日・授業交流・各行事）
- (14) 学校運営への参画意識の向上
- ・学校力、チーム力の強化～共通理解、共通指導、組織的対応
- (15) 経験年数やライフステージに応じた研修機会の充実
- ・授業交流、授業公開、各研修会参加・還流
 - ・今日的課題に対応した研修
- (16) 働き方改革の推進
- ・コアチームを核とした働き方改革の推進
 - ・ICTを活用した校務、会議の効率化、会議、行事の精選・統合

IV 各種評価結果と改善策

《R7 後期 保護者アンケート》

#	質問項目	A+B(%)	C+D(%)
1	楽しく学校に行っている。	88	12
2	友だちと仲良く生活している。	92	8
3	学校の授業がわかりやすいと言っている。	84	16
4	学習の基礎基本がしっかりと身につけている。	76	24
5	月曜日から金曜日まで、毎日学校の授業以外に家や塾で学習をしている。	71	29
6	朝食を毎朝食べている。	95	5
7	お子様の、寝る時刻と起きる時刻は、ほぼ一定している。	90	10
8	ご家庭で元気にあいさつをしている。	84	16
9	家で学校のことを話している。	87	13
10	運動や外遊びをよく行っている。	64	36
11	いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	95	5
12	安心して学ぶことのできる学習環境づくりを行っている。	100	0
13	学校だよりや学級通信、ブログ等で、学校の教育活動や学校での様子を伝えている。	96	4
14	地域の人材や文化を有効に活用している。	97	3
15	保護者・地域住民からの声に耳を傾けていると思う。	97	3
16	お子様が自由に使える、インターネットにつながっている、スマホ・タブレット・パソコン・ゲーム機等がありますか。	専用53% 家族30%	きょうだい8% なし9%
17	インターネットにつながっている、スマホ・タブレット・ゲーム機等の使い方のルールは決まっていますか。	決まっている83%	決まっていない17%
18	お子様の学校のある日(月～金まで)のテレビ・ゲーム・動画視聴の時間(1日平均)をおしえてください。	4時間以上4%	3時間以上18% 2時間以上34% 1時間以上21% 30分以上19% 30分未満4%

《R7 後期 児童アンケート》

#	質問項目	A+B(%)	C+D(%)
1	学校は、楽しいですか。	93	7
2	友だちと仲良くすることができていますか。	97	3
3	先生は、あなたのよいところをみとめてくれていてと思いますか。	90	10
4	先生の教え方は、わかりやすいですか。	94	6
5	勉強は、よくわかりますか。	93	7
6	授業やテストで間違えたところや、理解していないところを、分かるまで教えてくれますか。	94	6
7	授業中、自分の考えを友だちに話していますか。	85	15
8	学習時間		別記参照
9	毎日、朝ごはんを食べていますか。	96	4
10	毎朝、決まった時間に起きて、毎晩決まった時間に寝ていますか。	74	26
11	すすんであいさつをしていますか。	98	2
12	学校であったことを家の人に話しますか。	95	5
13	運動や外遊びをよくしますか。	84	16
14	自分には、よいところがあると思いますか。	87	13
15	将来の夢や、目標をもっていますか。	92	8
16	当番や係など、自分の仕事を最後まで頑張ることが出来ますか。	96	4
17	友だちの気持ちを考えて、親切にすることが出来ますか。	98	2
18	友だちが困っているときは、すすんで助けていますか。	95	5

《R7 後期 教職員アンケート》

#	質問項目	A+B(%)	C+D(%)
1	学校経営方針、学校教育目標に基づいた教育活動が行われている。	100	0
2	教育活動計画に基づき、実態に即した教育実践が行われている。	100	0
3	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいる。	100	0
4	ICTを効果的に活用した授業づくりが行われている。	100	0
5	家庭と連携し、家庭学習の内容を充実させる取組を行っている。	89	11
6	1人1人を大切にしたい教育が推進されている。	100	0
7	特別支援教育に関する知識・理解を深め、子どもの多様化や過剰状況を踏まえた適切な指導ができて	92	8
8	児童が互いに認め合い、支持的・協力的風土を基本とする学級経営が行われている。	100	0
9	指導の重点を明確にした「考えて議論する」道徳が推進されている。	100	0
10	ピア・サポートの実践が推進されている。	100	0
11	体力・運動能力の向上につながる体育の授業の工夫がされている。	92	8
12	体の成長や健康への関心を高める教育の充実が図られている。	92	8
13	家庭と連携し、基本的な生活習慣の定着が図られている。(生活習慣・早寝早起き・朝ご飯・忘れ物)	85	15
14	いじめの未然防止・早期発見・早期解決に向けて、組織的な取組が行われている。	100	0
15	産後抑鬱、防犯教育、交通安全指導等で、危機対応における判断力、実践力の育成が図られている。	92	8
16	危機管理を想定した対策を全職員が十分に把握するとともに、非常事態が発生した時の対応ができて	92	8
17	学校だより、学級通信、ブログ、学校行事、授業参観等で積極的に教育活動を公開している。	100	0
18	保護者や地域と協力して教育活動に取り組んでいる。	100	0
19	小中連携による効果的な教育活動が推進されている。	100	0
20	保護者、地域から依頼される学校づくりに努めている。	100	0
21	チーム学校として、共通理解、共通指導、組織的対応に努めている。	100	0
22	研修機会の充実が図られている。	100	0
23	ICTを活用した校務、会議の効率化が図られている。	100	0

考察

- 概ね学校は楽しく、友だちと楽しく過ごすことができていると見ることができる。
- 生活リズムや運動、外遊び(保護者で顕著)についてはやや課題が見られる。
- 保護者と教職員では家庭学習について課題があるという見方が一致している。
- 学校の様々な取組(ピアサポートやいじめに関する取組)は保護者に一定の理解を得ることができている上に、児童の学校生活についてもいい影響を与えていると考えることができる。
- あいさつの項目については児童の評価(高い)と保護者の評価(低い)に大きな開きが見られる。
- 学習の理解度(学力値)とゲーム・動画の視聴時間について相関が見られるのか、NRTの数値と併せて分析する必要がある。また、児童が申告している学習時間については、正確な数値はとりにくいと感じている。

V 学校関係者評価を受けての改善策等

1 学校関係者評価の集計結果

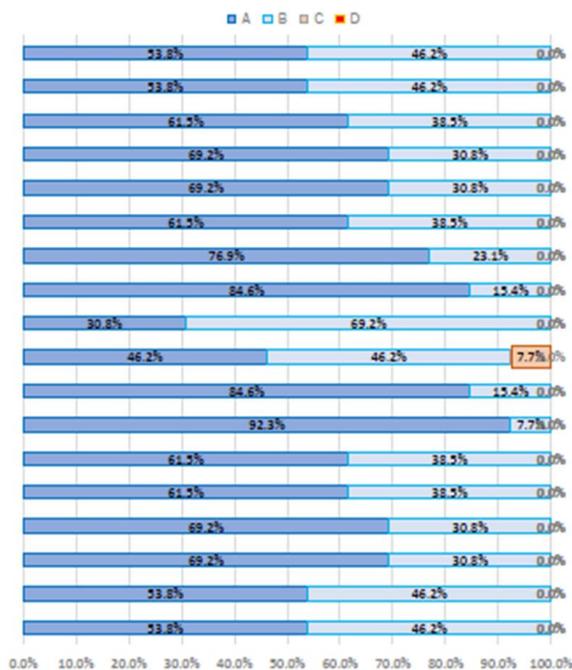
【評価項目】

【評価基準】 A：評価できる B：おおむね評価できる C：あまり評価できない D：評価できない					
評価項目	評価の観点（質問文）	小	中	コメント（両校共通、または個別にご記入ください）	
1	子どもたちの学びの姿	子どもたちは、授業や学校生活で自分の考えを持ち、主体的に学習に取り組んでいると評価できますか。（例：発表や話し合いへの参加）	A B C D	A B C D	
2	思いやりの心と行動	学校生活の様々な場面で、子どもたちがお互いを尊重し、思いやりのある言動をとる姿があると評価できますか。（例：励まし、ピア・サポート活動等）	A B C D	A B C D	
3	安心・安全な学校生活	学校は、子どもたちが安心して過ごせる、いじめを許さない安全な環境づくりに取り組んでいると評価できますか。	A B C D	A B C D	
4	小中連携の推進	第二小学校と上磯向中学校は、9年間を見通した「めざす子ども像」の共有や交流活動などを通して、円滑な連携を図っていると評価できますか。	A B C D	A B C D	
5	地域と共にある学校づくり	学校は、地域行事への参加や地域人材の活用などを通して、地域社会の一員としての子どもを育てる取り組みを進めていると評価できますか。	A B C D	A B C D	
6	積極的な情報発信	学校は、学校だよりやブログなどを通して、教育活動の様子や子どもたちの姿を、保護者や地域に分かりやすく積極的に発信していると評価できますか。	A B C D	A B C D	
7	学校運営方針の実現	学校は、学校経営方針やブランドデザインに沿って、教職員が丸となって組織的に取り組んでいると評価できますか。	A B C D	A B C D	
8	信頼に応える学校運営	学校は、保護者や地域の意見を尊重し、信頼に応える学校運営を行っていると感じますか。	A B C D	A B C D	
9	学校運営協議会の機能	学校運営協議会での意見や提案が、両校の学校運営の改善に反省されていると感じますか。	A B C D	A B C D	
10	【総合所見】学校への期待	今後、子どもたちの未来のために学校に期待することさらに良くするためのアイデア、応援メッセージなどがございましたら、ご自由にお書きください。			

【評価結果 数値】

【評価基準】 A：評価できる B：おおむね評価できる C：あまり評価できない D：評価できない

評価項目		【評価基準】 A：評価できる B：おおむね評価できる C：あまり評価できない D：評価できない			
		A	B	C	D
1 子どもたちの学びの姿	小	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%
	中	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%
2 思いやりの心と行動	小	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%
	中	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
3 安心・安全な学校生活	小	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
	中	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%
4 小中連携の推進	小	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%
	中	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%
5 地域と共にある学校づくり	小	30.8%	69.2%	0.0%	0.0%
	中	46.2%	46.2%	7.7%	0.0%
6 積極的な情報発信	小	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%
	中	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%
7 学校運営方針の実現	小	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%
	中	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%
8 信頼に応える学校運営	小	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
	中	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
9 学校運営協議会の機能	小	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%
	中	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%
10 【総合所見】学校への期待		別紙			



【評価結果 記述】

	項目	評価の観点 (質問文)	感想・意見
1	子どもたちの学びの姿	<p>子どもたちは、授業や学校生活で自分の考えを持ち、主体的に学習に取り組んでいると評価できますか。 (例：発表や話し合いへの参加)</p>	<p>・小学校 歌声集会では「感想を発表したい人？」の問いかけに、たくさんの児童が手を挙げ自分の言葉で発表していました。高学年になると内容が被らないよう言葉を選び、お互いの意見を尊重するような場面もみられました。大勢の人がいるなかで、堂々と発表する姿を見て、普段から自分の気持ちや考えをみんなに伝えられるように環境づくりをされているのだと感じました。</p> <p>・小学校 学習発表会での様子は素晴らしいものでした。</p> <p>・中学校では、特に放課後学習や検定を受ける生徒さんが多く(実際多いかわからないですが)いることから。</p> <p>・中学校 個々の意見はしっかりあるのに、進んで発表する生徒は少ないように思います。中学生(思春期)なのである程度仕方のないこととは思いますが、自分の考えを進んで発言できるようになってほしいです。</p> <p>・中学校は放課後学習の出席率の高さから、主体性が充分に窺えます。</p> <p>・授業改善により、問題発見解決型の授業が行われ、問題を自分事として捉えることで、話し合い活動発表の機会が増え、主体的な学びになっていると思います。</p>
2	思いやりの心と行動	<p>学校生活の様々な場面で、子どもたちがお互いを尊重し、思いやりのある言動をとる姿があると評価できますか。</p>	<p>・日頃の子どもたちの様子から、相手に対して思いやりを持って接する姿が見られます。特に、他学年と交流を行うピア・サポートでは、上級生が下級生に対して優しく温かく接する姿が見られました。</p> <p>・友だちと仲良く遊ぶ様子をいろいろな場面で見っていました。コロナ禍以降、また交流が増えてきた実感しています。</p> <p>・参観などではみんな仲良く、協力し合っている印象があります。町会の行事(世代間交流)やボランティア(スカイロード清掃)などで交流する子どもたちも、みんな優しく協力的で、思いやりの気持ちを持って接してくれます。学校は「いいとこみつけ」やピア・サポートなど、相手の気持ちを考えること、相手の良いところを見つけられることなど心の教育に力を入れていると思います。</p> <p>・運動会、記録会、学習発表会等を通じて、子どもたちがお互いを尊重し、思いやりある行動をとる姿を見させていただきました。</p>
3	安心・安全な学校生活	<p>学校は、子どもたちが安心して過ごせる、いじめを許さない安全な環境づくりに取り組んでいると評価できますか。</p>	<p>・小学校低学年の子どもたちの表情が明るく楽しそうで安心しています。・子ども同士でのトラブルへの介入や保護者の方への連絡等によっていじめを未然に防ぐことができているのではないかと思います。・「いじめ」は、相手の受け止め方でも異なった認識となる。でもアンケートなどで探知して下さっており、今後も安心できる環境づくりをお願いします。・「嫌な思いをしたらいじめ」なので、いじめという概念は絶対になくならないものと個人的には思っています。学校や家庭でできることは、相談しやすい環境づくりと解決に向けて一緒に考えていくことだと思います。学校はいじめに関するアンケート結果や、これを踏まえての取り組みなどをお便りに掲載し周知を図ると同時に、様々な人と接する機会を設け、視野を広げられるような環境づくりにも努めていると感じます。・「いじめ」は大人の社会でもあるように、どこでも起こります。なぜ、いじめが起こるのか、子どもたちとみんなでレクチャー&話し合う場みたいなものがあると良いのかなと思います。</p>

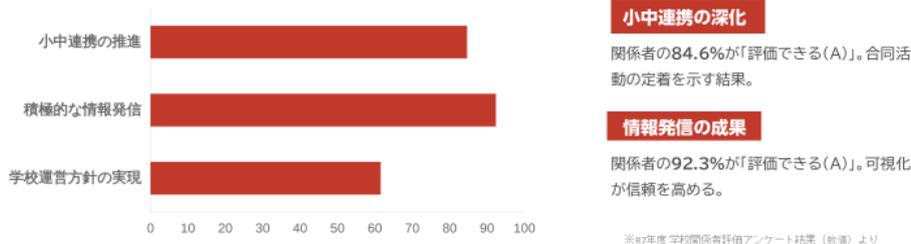
4	小中連携の推進	<p>第二小学校と上幌向中学校は、9年間を見通した「めざす子ども像」の共有や交流活動などを通して、円滑な連携を図っていると評価できますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年の中学校訪問、歌声交流会、クリーン作戦、学習サポートなど子どもたちが交流する機会があること。サポートしてもらっていた側が、サポートしていく側へと成長していく過程が経験できることはとても良いと思います。 ・中学校の合唱を聴いて、感動されている小学生がたくさんいる様子がありました。 ・小学校からほぼ持ち上げりの状態で中学校へ行くため、小中合同の取り組みでの交流(歌声集会など)や小中の「目指す子ども像」が共有されて、つながりが意識されていると思います。 ・9年間の成長の様子をブログなどで観ることができ、小中の積み重ねがよくされていると感じます。
5	地域と共にある学校づくり	<p>学校は、地域行事への参加や地域人材の活用などを通して、地域社会の一員としての子どもを育てる取り組みを進めていると評価できますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・田植えや稲刈り体験など地域特性を生かした取り組み、コミュニティ市など地域と学校が交流する場を続けていることはとても良いことと思います。ただ、コミュニティ市などはどうしても大人が主体になってしまうため、子どもたちが活躍(協力)できる環境でもよいのかなと考えます。(地域やPTAとも一緒に考えていくことなのですが…)また、健全育成連絡協議会など地域と学校との情報が共有される組織があることも評価できると思います。 ・クリーン作戦やコミュニティ市をはじめとして、地域の方々と子どもと大人が共に活動し、子どもを育てる取り組みを行っていると思います。学校以上に生き生きと子どもたちが活動していると思います。 ・中学校：学校評価の教職員と保護者が生徒に身に付けたい力の「地域と社会に関心を持つ力」が0%となっている。残念。 ・会でも以前に言われていましたが、高校以降の子どもたちの進路が多岐にわたっており、地域の若手が残りにくい。魅力ある地域を今後目指していけたらと思います。
6	積極的な情報発信	<p>学校は、学校だよりやブログなどを通して、教育活動の様子や子どもたちの姿を、保護者や地域に分かりやすく積極的に発信していると評価できますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方は多忙でありながらも情報発信に力をいれていると思います。ブログを読み子どもたちの様子を知れることが安心へと繋がっています。 ・ブログ大変楽しみにしています。(コラムも興味深く読ませてもらっています)先生方には、ご負担かと存じますが、是非続けて頂けると嬉しいです。 ・両校の学校だよりは、毎月楽しみにしている地域の方が多数います。 ・小中学校の両方で、学校だよりやブログによる情報発信について、保護者の方より肯定的な意見を頂けているため、評価できると思います。 ・小学校の様子が中学校より少ない。学年が多岐になるのもあるが、見て子どもたちの生活を実感したい。
7	学校運営方針の実現	<p>学校は、学校経営方針やグランドデザインに沿って、教職員が一丸となって組織的に取り組んでいると評価できますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒のアンケート結果をみると、授業がわかりやすい、学校が楽しいなど肯定的な意見です。学校訪問を通じての授業参観や学校祭、運動会、学習発表会などでは、仲間と協力して取り組む姿、練習の成果、時間内にうまくプレゼンする様子など、子どもたちが頑張っているところをたくさん目にしました。主体は子どもであると先生方の共通意識も窺えました。 ・小中共に校長を中心に、充分信頼に込えていると思います。 ・学校経営方針やグランドデザインの細やかな変更でも全教職員へ周知がされているため、一丸となって組織的に取り組んでいると評価します。 ・研究会をはじめ、地域の子どものために尽力くださり感謝しています。

8	信頼に応える学校運営	<p>学校は、保護者や地域の意見を尊重し、信頼に応える学校運営を行っていると感じますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な考え方があり全てにおいては難しいところです。お互いの思いは伝わらないかもしれませんが、どのような場面でも向き合うことが大切だと思います。学校はいつでも相談しやすい仕組みになっており、保護者や地域と向き合っていると思います。 ・PTA内であがった意見については、尊重して頂けていると強く思います。ですが、今回保護者からアンケートで声がいろいろとあがったような、役員以外の声にもコメント以外でも対応して頂けることを信じています。 ・保護者や地域の意見が全て通るではないですが、どの方からの意見も吸い上げて、より良い学校運営を行っているのではないかと思います。 ・保護者の声によく耳を傾けてくださり、ありがとうございます。
9	学校運営協議会機能	<p>学校運営協議会での意見や提案が、両校の学校運営の改善に反省されていると感じますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA 活動でも意見はすぐに反映されました。できることできないことについては話し合いの中で解決し、どの組織も意見や提案はしやすい環境であり、意見を尊重してくれていると感じます。 ・地域の見守りや自転車の危険な乗り方など、地域の課題などとしてあげられた事案に対して、実際に活動が行われているため、反省されていると思います。 ・意見をすくい上げてくださり、また話し合いしやすい会と感じています。
10	【総合所見】学校への期待	<p>今後、子どもたちの未来のために学校に期待することさらに良くするためのアイデア、応援メッセージなどがございましたら、ご自由にお書きください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校ならではの良さを生かし先生方の手厚い教育を受けられていること、地域として保護者として大変感謝しております。これからも変わらず、先生方の知識や経験を子どもたちに伝えていってほしいです。 余談ですが、中学校の評価アンケート質問13の結果で、保護者と先生との見解が分かれている部分があり大変興味深かったです。保護者が思っている以上に生徒は学校では努力しているのかもしれない。 ・小さいじめ(悪口)が、ごじれて大きなじめになる前に、対応しておられることと思います。先生方は、アンテナをはりつづけなくてはならないでしょうから、心も身体も相当なご負担があるとお察しします。いつもありがとうございます。先生方の心と身体も大切になさってくださいね。 ・「大器晩成」自分の能力を発揮する時期はそれぞれです。種まきをし、肥料を与え、じっくり育てていただきたいと思います。 ・地域が一体となって、子どもたちを温かく見守ることで、安心・安全な暮らしが保障され、学校生活を送ることができていると思います。教職員としてだけでなく、地域の大人としても子どもの成長を見守り、尽力したいと思います。 ・倫理、人として正しい道への指導願います。 ・人として変えてはいけぬ価値観・尊重しなければならない事を子どもたちが体験できる場を提供できると良いと思います。基本的に家庭の責任が100%ですが、町会も世代間交流などで場を設定できると良いと思います。 ・地域の子どもの様子は、外遊びや登下校で目にしていますが、一人ひとりの「がんばり」を知るのには学校からの発信が大きいと思います。これからも子どもたちの良さをたくさん伝えてください。 ・上幌向中は、文化部・運動部ともにもう一つぐらい部活の選択肢があると良いかなと思います。 ・第二小は、体育館の照明をLEDにしてあげると、明るくなり、様々な面でプラスになると思います。

2 学校関係者評価を受けて

熟議の取組： 成果①

小中連携の推進は84.6%が「評価できる」とA回答



小中連携の深化

関係者の84.6%が「評価できる(A)」。合同活動の定着を示す結果。

情報発信の成果

関係者の92.3%が「評価できる(A)」。可視化が信頼を高める。

※n年度 学校関係者評価アンケート結果（教職）より

熟議の取組： 成果②

「9年間の積み重ねが見える」地域からの信頼

成長の可視化

「ブログで9年間の成長が見え、小中の積み重ねがよくされているのがわかる」

— 学校評価コメントより

社会性の向上

「中学生が小学生をサポートする側へ成長していく過程が経験できている」

— 学校関係者評価コメントより

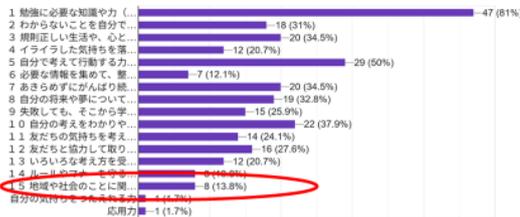
共育の実現

「地域の方々と子どもが共に活動し、子どもを育てる取組が行われている」

— 学校関係者評価コメントより

熟議の取組： 課題 「学校評価 身に付けさせたい力」

【生徒】身に付けたい力

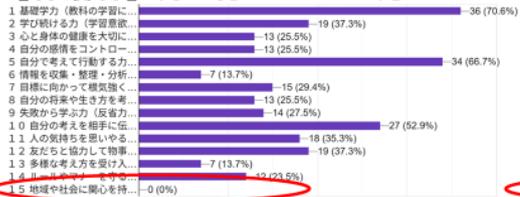


順	生徒の願い	保護者の願い	教職員の視点
1	①基礎学力 81%	①基礎学力 70.6%	③自分で考えて行動する力 73.3%
2	②自分で考えて行動する力 50%	②自分で考えて行動する力 66.7%	②学び続ける力 60%
3	③自分の考えを相手に伝える力 37.9%	③自分の考えを相手に伝える力 52.9%	①基礎学力 53.3%
4	④心と身体の健康を維持する力 34.5%	④協力して物事に取り掛かる力 37.3%	④基礎学力を伸ばす力 46.7%
5	⑤基礎学力を伸ばす力 34.5%	②学び続ける力 37.3%	③自分の考えを相手に伝える力 46.7%

【それぞれの視点】

- 生徒・保護者は、日々の学習や社会生活に直結する「基礎学力」を最も重視。
- 教職員は、専門的視点から、知識そのものよりも、自ら学び行動する「主体性」や「粘り強く学ぶ力」を重視。
- 保護者は「心広げ力」を重視しており、社会性や人間関係を育んでほしいという願いがある。

【保護者】身に付けてほしい力



【教職員】身に付けてほしい力



熟議の取組： 課題 「次年度に向けて」

R7の課題：「地域への関心」を次年度の重点活動項目へ

R7年度の課題と反省

学校評価の「地域と社会に関心を持つ力」の評価が、教職員・保護者で0%であった

→R8年度は、子どもが地域行事の「主役」となる場面を増やし、当事者意識の醸成に注力



地域合同活動の深化

町会・町内会への参加をさらに広げ、地域行事への子どもたちの参加を質・量ともに拡大する。



子ども主体の加速

児童会・生徒会が企画段階から関与。大人はサポートに徹し、子どもたちの「やりがい」を形にする。



地域特性の活用

田植え・稲刈りやコミュニティ市など、上幌向地区ならではの体験活動を継続し、郷土愛を育てる。

「地域と共にある学校」のさらなる深化へ



地域合同活動の深化：地域の特色を活かした体験活動の継続と発展



顔の見える学校運営：積極的な情報発信による双方向の信頼関係強化



持続可能な連携：学校運営協議会を核とした未来への投資

VI 資料

*保護者等への公開資料

令和8年1月27日発行 学校だより第11号

後期学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。

12月の学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。児童に実施したアンケートとともに、集計結果をお知らせいたします。

【児童アンケート集計結果】

児童（単位％）		A+B(%)	C+D(%)	
#	質問項目			
1	学校は、楽しいですか。	93	7	
2	友だちと仲良くすることができていますか。	97	3	
3	先生は、あなたのためよいところをまとめてくれていると思いますか。	90	10	
4	先生の教え方は、わかりやすいですか。	94	6	
5	勉強は、ふくわかりますか。	93	7	
6	授業やテストで間違えたところや、理解していないところを、分かるまで教えてくれますか。	94	6	
7	授業中、自分の考えを友だちに話していますか。	85	15	
8	学習時間	20分未満		
9	毎日、朝ごはんを食べていますか。	96	4	
10	毎朝、決まった時間起きて、毎朝決まった時間に寝ていますか。	74	26	
11	ずさんでああいさつをしていますか。	98	2	
12	学校であったことを家の人に話しますか。	95	5	
13	運動や外遊びをよくしますか。	84	16	
14	自分には、よいところがあると思いますか。	87	13	
15	将来の夢や、目標を立っていますか。	92	8	
16	当番や係など、自分の仕事を最後まで頑張ることができますか。	96	4	
17	友だちの気持ちを考えて、親切にすることができますか。	98	2	
18	友だちが困っているときは、ずさんで助けていますか。	95	5	

学習時間

していない	9	7%
1分以上	20	17%
10分以上	14	12%
20分以上	16	13%
30分以上	16	13%
40分以上	9	7%
50分以上	9	7%
1時間以上	28	23%



ゲームや動画の時間

4時間以上	17	14%
3時間以上	11	9%
2時間以上	19	16%
1時間以上	23	19%
30分以上	30	25%
30分以下	16	13%
見ていない	5	4%



○多くの項目において、肯定的な回答（「A そう思う」「B だいたいそう思う」）が90%を超える結果となりました。

○「授業やテストで間違えたところや、理解していないところを、分かるまで教えてくれますか」という設問では、肯定的な回答が94%となり、前回から6%増しました。今後も、担任の先生だけでなく、専科や時間講師の先生など、教職員みんなで子どもたちの学習をサポートしてまいります。また、子どもたちの一人一人の良さやがんばりを多くの先生方で認めることを大切に、子どもたちが自分の良さに気づき、それを伸ばしていけるように関わってまいります。

●「授業中、自分の考えを友だちに話していますか」という設問では、肯定的な回答が85%でした。ペアやグループ活動の中で、自分の考えを伝える機会を更に増やすなど、工夫していきます。

【保護者アンケート集計結果】

保護者の声(学校別)		A+B(%)	C+D(%)	
1	楽しく学校に行っている。	88	12	
2	友だちと楽しく生活している。	82	8	
3	学校の授業がわかりやすいと思う。	84	16	
4	学習の進度が本がしっかりと進んでいる。	76	24	
5	月曜日から金曜日まで、曜日学校の授業以外に書や画で学習をしている。	73	29	
6	朝食を毎朝食べている。	88	8	
7	お子様の、寝る時刻と起る時刻は、ほぼ一定している。	80	19	
8	ご家庭で元気に遊んでいる。	84	16	
9	家で学校のよさを話している。	87	13	
10	運動や外遊びをよく行っている。	64	36	
11	しつこめのない学校づくりに取り組んでいる。	95	5	
12	安心して学ぶことのできる学習環境づくりを行っている。	100	0	
13	学校および学校施設、スロップ等々、学校の教育活動や学校の様子を楽しんでいる。	66	4	
14	地域の人がや文芸や音楽に活用している。	87	3	
15	保護者・地域住民からの声にも耳を傾けていると思う。	87	3	

16	お子様が自由に使えるインターネットに繋がっている。スマホやタブレット/コンゲーム機はありますか。	専用30% 家庭30% きょうだい8% なし9%
17	インターネットに繋がっている。スマホやタブレット/ゲーム機等の使い方のルールは決まっていますか。	決まっている89% 決まっていない17%
18	お子様の学校の毎日(月～金)でのプレイゲーム、動画視聴の時間(1日平均)はどれくらい。	4時間以上4% 3時間以上18% 2時間以上38% 1時間以上21% 30分以上18% 30分未満4%

○「安心して学ぶことのできる学習環境づくりを行っている」という設問では、肯定的な回答(A・B)が100%という結果でした。第二小学校では、岩見沢型ピア・サポートを推進しており、学級内や異学年による朝のピア・サポート活動を計画的に行っています。また、他者理解をしたり、素敵な行動を増やしたりすることをねらいとした活動もすべての学級で行っています。こうした取組を通して、子どもたちが安心して過ごせる、安全な学級づくりを進めています。これからも、子どもたちが安心して学ぶことのできる環境づくりに努めてまいります。

○「朝食を毎朝食べている」については、前回と同様、高い結果となりました。日頃から、お子さんが元気に学校生活を送れるよう、ご家庭での生活習慣を整えていただき、ありがとうございます。一方で、寝る時刻や起る時刻については、保護者の方とお子さんの回答に差が見られました。特に、寝る時刻については、今一度ご家庭で様子を見ていただくようお願いいたします。

●「運動や外遊びをよく行っている」という設問については、肯定的な回答が64%で、前回よりも10%低い結果でした。気温が下がり、外で遊ぶ機会が少なくなってきたことが、理由の一つとして考えられます。冬の時期でも体を動かす機会を大切に、運動量を確保できるよう取り組んでいきたいと考えています。

《インターネットの利用について》

岩見沢市青少年センターの保護者向け啓発リーフレットでは、インターネットの安全な利用についてお知らせしています。今後も tetoru で配信していきますので、ご家庭でご覧ください。

【保護者の皆様からの自由記述一覧】

☆学習について☆

- ・自宅学習をする習慣ができて良かったと思います。
- ・毎日宿題を出してくれるのがありがたいです。また、お休みの子がオンライン授業を受けていたと聞き、先生方は大変かと思いますがすごく助かるなど思いました！いつもありがとうございます。
- ・家では進研ゼミを中心に毎日1時間以上、休みの日は3時間ほど勉強していますが、それが家庭学習としてあまり認められていないようなので、本人が気にしています。特に理科では、ノートにまとめる事が1番の家庭学習で、それをしないとかなり厳しく注意されると言っています。進研ゼミや、父が作った計算プリントなど、家で工夫して苦手を克服するような学習方法ではダメでしょうか？最近では家庭学習の事で悩むことが多くあります。
- ・iPadの持ち帰りについて、何も学習の役に立ってないです。

《回答・見解》

ご家庭で、宿題に取り組むお子さんを温かく見守っていただいたり、工夫しながら学習を支えていただいたりと、日頃のご協力に心より感謝いたします。学力を身に付けるためには、学校での学習に加え、ご家庭での学習もとても大切です。現在、家庭学習の取組については、学年によって、違いが見られます。どのような力をつけさせるために、どのような方法や内容で家庭学習に取り組むのが良いのかを教職員で話し合い、第二小学校としての家庭学習の取組の方向性を決めていきたいと考えております。詳しくは来月の参観日の全体懇談会でお伝えいたします。

ご家庭での学習においては、iPadの活用だけではなく、ノートでの取り組みも推奨しております。お子さんの様子に合わせて、取り組みやすい方法をお子さんと一緒に話し合ってみてください。

今後も引き続き、ご家庭でお子さんの学習を見守り、サポートして下さるようお願いいたします。

☆学校生活について☆

- ・お友達との関係が日々変化する中で、話を聞いてくださって、しっかりと対応していただき、教頭先生をはじめ、先生方には大変感謝しております。ちょこちょこ揉め事はあるようですが、家で話したり、次の日に意外と改善されていたりと前ほど辛い思いをせず楽しく登校する日が増えています！
- ・問い合わせや相談についての返答や対応が早く、安心して学校生活を過ごせるようになった。
- ・先生が代わってから保健室に気軽に行きづらくなったそうなのですが、ケガや体調不良にはしっかり対応して下さっている印象なので、保健室は遊びに行く場所ではないというのを全体に通知していただけると助かります。おそらく今までが特別対応だったのかなと思いました。
- ・鬼ごっこやカタキなどいろんな遊びが禁止になっていて、親としてはなんだか気の毒だな…とっております。子どもへの安全への意識などの改善は厳しいのでしょうか？

《回答・見解》

子どもたちが安心・安全な学校生活を送れるよう、日頃から多くの教職員で見守りや声掛けを行い、「みんなで子どもたちを育てる」ことを大切にしております。学校生活の中では、友だちとの関わりを通して、楽しいことやうれしいことだけでなく、悲しい思いや嫌な出来事を経験することもあります。子どもたち同士で解決できることもあります。難しい場合もあります。そのようなときには、どの先生にも安心して相談できるような体制を整えています。これからも、お子さんのことで心配なことや気になることがありましたら、どうぞ遠慮なくご相談ください。

保健室は、子どもたちの体調管理を行うだけでなく、気持ちや悩みを相談できる場所でもあります。今後も、保健室が本来の役割を十分に果たせるよう、努めてまいります。

子どもたちの遊びにつきましては、安全に留意しながら、実態に合わせて子どもたちが楽しく体を動かしたり遊んだりする機会を大切にまいります。

☆登下校について☆

・スクールバスが西陸橋下やサントウン内で下校時間を待っていますが、雪が降らない間だけでも学校の体育館のほうの駐車場などは利用できないのでしょうか？どうしてもやってほしい事というわけではないのですが、路駐は迷惑になる時がたまにあるのと、停めるところがあれば運転手さんも楽かなと思いました。乗車や下車もそちらで行えると送迎の車の前を通らずに安全だと思うのですが…色々難しいのかもしれないですね。一意見なので軽く流して頂いて大丈夫です。いつも子どもたちの為に尽力して頂きありがとうございます!!

・夏は猛暑の中、冬は寒さ、吹雪の中、児童館まで歩くのが可哀想。車が歩行者に突っ込む事故、熊等も考え、北の人達は学校へ行くのに、児童館に行く人は全てスクールバスを使えるようにすべき。北方面からの学校、学校からの児童館、猛暑と真冬に歩くのは大人でも地獄ですよね？

《回答・見解》

登下校についてご心配をおかけし、申し訳ございません。スクールバスの運行や待機場所については、学校だけで決めることはできませんが、いただいたご意見は市に報告いたします。

今後も天候に応じて、下校時に先生が歩いて児童館まで引率するなど、子どもたちの安全を見守る対応を続けてまいります。また、悪天候などで児童の安全が十分に確保できないと判断した場合は、緊急引き渡し下校を行うことがあります。その際は、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

☆その他☆

・いつも親身にお話を聞いてくださり、また、学校での出来事も細かく教えてくださるので、子どもについて情報共有が密にできていると感じています。支援センターとの連携も、親含め、三者できていると感じていて、本人の成長と充実した学校生活に繋がっていると思います。

・アプリで普段の子どもたちの様子などの写真を増やしてほしい。

- ・子ども達の為に、いつも最善を尽くしていただきありがとうございます。今後も宜しくお願いします。
- ・いつも大変お世話になっております。毎日楽しそうに学校に通っている娘を見ると、とても充実した日々を過ごせているのだと感じます。先生方のおかげです。いつもありがとうございます。残り少なくなりましたがどうぞよろしく願いいたします。
- ・連絡帳の件、読める字で書いてもらえると助かります。忙しい中、子どもたちのことをよく見ていると思う。
- ・校長先生の朝の交通見守り、挨拶が安心できます。また、担任の先生から細かな連絡を頂けることが大変ありがたく、大きな助けとなっております。
- ・1年生ということもあり、学級通信や時間割を持って帰ってこないこともあります。totoru で配信とかも一切ないので配られていないのか児童館とかで裏紙とかに使っているのかもわかりません。「先生が『授業で使う。』って言ってたから買ってー。」ってよく言われますが、それが本当なのかどうなのかわからないので持たせないことが多々あります。高学年の姉妹は毎週テトルで連絡がありますが、1年生が全くないのはどういう事なのか説明がほしいです。
- ・お便り等のアプリの使用が学年により頻度が異なるので、大変かとは思いますが足並みを揃えてなるべくアプリでの配信をお願いしたい。
- ・持ち物やお知らせなどを時間割に書いてくださっている事が多いですが、時間割は基本的に子ども自身が管理しており、見落とす事があるので毎度アプリで送っていただくかクラス通信に書いていただけると管理しやすくありがたいです。
- ・クラス通信、時間割をアプリで送っていただけるとありがたいです。
- ・個人的なことではありますが、教頭先生がいつも親身になって話を聞いてくれて、対応がとても早いです。いつも、ありがとうございます。
- ・教頭先生、お忙しい中いつもありがとうございます！
- ・校長先生、教頭先生が生徒一人一人を見てくれたり、駆け込み寺のような素敵な先生がいたり、いつも本当にお世話になっております。誰を頼っても良いという環境が本当にありがたいです。

《回答・見解》

各学年の通信や時間割は、用紙で配付しておりますが、十分にお知らせが届かなかったご家庭もあり、申し訳ございませんでした。保護者の皆様にご確認いただけるよう、用紙とあわせて全学年で totoru による配信も行っております。

今回も先生方への温かい励ましのお言葉をたくさんお寄せいただき、ありがとうございました。子どもたちが安心・安全な学校生活を送れるよう、今後もご家庭の皆様との連携を大切にしながらお子さんの成長を支えてまいります。お子さんのことでのご相談やご意見、お問い合わせなどがありましたら、いつでも遠慮なく学校までご連絡ください。

今回いただいたご意見やご要望、そして励ましのお言葉をしっかり受け止め、今後も第二小学校の子どもたちのために、教職員一同、力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。これからも、保護者の皆様のお力添えをお願い申し上げます。